

ちがちよう
和東町は京都府の南の端、奈良平城京と宇治平等院とのほぼ中間に位置し、緑豊かな山腹に茶畑が広がる、宇治茶の主産地です。
和東のお茶の代表は、山吹色に輝く煎茶です。町の中心を和東川が東西に流れ、寒暖の差が朝霧を生み、「こく」のある茶葉を育みます。

この茶畑の眺望風景が、「生業の景観」として京都府景観資産登録第2号に指定され、また京都府選定文化的景観に選定されました。

和東町へは…
○公共交通の場合
JR関西本線加茂駅西口から奈良交通バス和東小杉行「和東山の家」下車(約15分)
○お車の場合
大阪・奈良・京都方面から——
国道24号・163号と府道5号で和東へ。
大津・信楽方面から——
国道307号から府道5号で和東へ。



- 1 安積親王陵墓**
(あさかしのうりょうぼ)
安積親王は聖武天皇の皇子で、17歳で死去。平城京・泰仁京と紫香楽宮とを結ぶ街道を愛した皇子のために、この地を陵墓として葬られたと伝わる。別名太鼓山とも呼ばれ、茶畑に囲まれた陵墓から眺める風景も絶景である。
- 2 八坂神社の大杉**
樹齢1300年以上と言われ、幹周り12.8m、高さ31mの北山杉。昔、本幹が倒壊し、枝木の8本が株を一つにして巨木となったと伝わる。町内に同一品種は見当たらず誰がこの地に植えたか謎である。京都府指定の天然記念物。
- 3 弥勒磨崖仏**
(みろくまがいにぶつ)
和東川を覗き込むように、川の右岸の巨岩(御影石)に彫られた立像がある。正安2年(1300年)4月の銘が彫られている。
- 4 正法寺**
聖武天皇の皇子安積親王の冥福を祈って行基が創建した禪寺で、秋の紅葉が見事なスポットでもある。
- 5 不動の滝**
山岳仏教の修験場であったこの滝の滝壺には不動明王が祀られ、霊験あらたか。別名「黄金の滝」とも言う。
- 6 鷲峰山金胎寺**
(じゅうぶさんこんたいじ)
7世紀末頃役の小角が寺を開き、聖武天皇が平城京の鬼門を護るために堂を建て、勅願寺としたと伝えられている。
- 7 行場**
金胎寺は山岳霊場として開基され、厳しい行場がある。山頂から行場にかけて京都府の歴史的自然環境保全地域である。
- 8 京都和東荘**
2016年7月にリニューアルオープンした京都和東荘は「お茶を五感で愉しむ宿」をコンセプトに、お茶の会席料理や、煎茶を浮かべたお茶風呂などが楽しめる。
TEL 0774-78-2603
- 9 和東天満宮**
西暦983年に菅原道真公の画像を祀ったのが始まりで、室町時代の建築様式を残した本殿は重要文化財でもある。
- 10 百丈岩**
鎌倉谷と呼ばれる美しい溪谷にある御影石の巨岩。別名八帖岩とも呼ばれる。京都の自然200選にも選ばれている。
- 11 なごみの湖**
森林公園内のフィッシングエリア。和東川の支流を堰きとめた人造湖だが、スポーツフィッシングを楽しむスポット。
- 12 湯船森林公園**
六角形の休憩所や遊歩道等があり、夏にはバーベキュー、一年を通してマウンテンバイクで賑わう。

和東茶カフェ
宇治茶の主産地でもある茶源郷・和東で、地元の農家直売の和東茶と和東茶を使ったスイーツを味わえるカフェ&ショップ
時間 10:00~17:00 (日曜日 9:00~)
TEL 0774-78-4180

2017年3月発行
○和東町地域力推進課
TEL 0774-78-3001
chiikiryou@town.wazuka.lg.jp

A 白栖・石寺の茶畑

B 撰原の茶畑

C 釜塚の茶畑

D 原山の茶畑

春 和東の町は西から東へと順に暖かくなり、西に位置するこの地域は「早場(はやば)」と呼ばれ、4月下旬には早くも茶摘みが始まります。近代的な農園整備がなされ、空まで続くかのような茶畑が見られます。

和東の茶畑は、川沿いから見上げるだけでは想像がつかないほど、急傾斜の山の上にも広がります。この地域では傾斜に合わせて、パッチワークのように繊細に畝が巡らされ、まさに「山畑」と言えます。

釜塚山の茶畑は、傾斜地を先人がすべて手鋏で開墾し、広げたものです。茶畑と、住まいする民家が隣合わせにある独特の景観は、和東が誇る「生業(なりわい)の景観」です。

和東町に初めてお茶の木が植えられたのは鎌倉時代、原山と伝われます。数ある茶産地の中で、収穫と手入れのために一年を通して最も多く鋏を入れる和東の茶畑は、とくに芸術的な光景を見せてくれます。

